四谷大塚	4年							
	算数							
学習内容	9回　円とおうぎ形 10回　総合（予習シリーズ４年㊦　第６回～第９回） 11回　角柱と円柱 12回　一方にそろえて解く問題							
家庭学習ポイント	11月は「「円とおうぎ形（２）」「総合（6～9回）」「深さの変化」「グラフの読み取り方」を学習していきます。「円とおうぎ形」では面積の求め方を中心に扱います。3.14に関わる計算は今後6年生まで多用します。計算の経験を重ねるにつれて「1桁の数字×3.14」の答えは覚えてしまうようになっていきます。ある数に3.14をかけて計算する場合、 かけ算の筆算の上に3.14、下にかける数を書くことで、「1桁×3.14」 の答えを覚えている子は早く計算ができますが、ことさら「暗記」として覚えようとする必要はありません。「角柱と円柱」については、 体積や表面積の計算などが中心になります。正しい答えを出す集中力と作業力が求められますので、 集中して計算に取り組む必要があります。「一方にそろえて解く問題」では、つるかめなどを表や式で解くことを学習していきます。つるかめ算をはじめとした特殊算にはそれぞれ図法や考え方、適した解き方がありますが、それを丸覚えするのではなく「どうしてその図を書くと考えやすいのか」ということを意識するようにしましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	「×3.14」の計算を筆算するとき、必ず3.14を上に書いて計算していますか？	チェック					
	解決策	このように書いて「1桁の数×3.14」を繰り返し計算する経験値を積み上げていきましょう	□					
	チェック2	角柱・円柱の体積や表面積の計算で、ミスを連発していませんか？	チェック					
	解決策	1問を解き切るまでの集中力を意識しましょう	□					
	チェック3	つるかめ算など文章題では問題では、必ず図や表を書いて考えていますか？	チェック					
	解決策	「なぜそのような図を書くと考えやすいのか」ということを意識することが大切です	□					
	チェック4	過去の学習内容の復習ができていますか？	チェック					
	解決策	2ヶ月、3ヶ月前に習った内容の復習を、少しずつでも家庭学習に入れられるのが理想です	□					
	チェック5	高速基礎マスターに長い時間をとられていませんか？	チェック					
	解決策	これだけに時間を取られるのは本末転倒です。塾の担当講師に相談が必要かもしれません	□					

四谷大塚	4年		
	国語		
学習内容	6回　説明文・論説文（12） 文章全体の組み立て② 分けて〈関係〉を考える　同訓異字 7回　総合（予習シリーズ４年㊦　第６回～第９回） 8回　物語・小説（13） 主題　接続関係① 〈順接〉1　和語③ 9回　物語・小説（14） 人物像と主題接続関係② 〈順接〉2　ことわざ①		
家庭学習ポイント	説明文・論説文の読解を通じて話題や事実（理由）、筆者の意見（結論）を区別し、文章の組み立てを理解し、的確に要約する力を養っていきます。7回「総合」を挟んで入る物語・小説の読解では、物語の主題を理解しながら場面と登場人物の心情の変化を読み取り、それらを通して筆者が伝えようとしている意図まで探ります。語句は同訓異字、和語、後半はことわざについて学びます。論説文については①どこに筆者の意見が書かれているのか、②それを支える事実（筆者の意見の根拠）はどこか、③どの意見が最も大切なのか。お子さん自身の思考を促すような発問を通して、これら３点の理解度を確認していきます。キーワードを発見するコツや、本文中で何度も言い換えられている内容に気づいているかの確認も効果的です。また、段落ごとの内容を的確かつシンプルに表現できるかも確認してみましょう。うまくいかない場合は、本文中の表現に理解できないところがあるのか、知らない（あるいは意味を取り違えている）語句があるのかなどもチェックできるといいいでしょう。「要するにどういうことなのか？」を考える力が大切です。物語についてはストーリーを図式化することで、物語の一定のパターンに気づかせるのが効果的です。		
課題の把握と解決策	チェック1	論説文では事実と膝射の意見を読み分けられていますか？	チェック
	解決策	印をつけながら読んでいく習慣をつけるのもいいですね	□
	チェック2	物語文を読む際、場面を映像のように思い浮かべていますか？	チェック
	解決策	登場人物の顔や服装、キャラクターなども映像のように思い浮かべてみましょう	□
	チェック3	日常生活の中で、ことわざを使うシーンがありますか？	チェック
	解決策	日常生活であてはまるシーンを親御さんが伝えてあげるといいですね	□
	チェック4	語彙を増やす努力をコツコツ続けていますか？	チェック
	解決策	慣用句などはご家庭の会話の中でも積極的に使うといいですね	□
	チェック5	物語文の登場人物の関係性が理解できていますか？	チェック
	解決策	登場人物の相関図を書いてみるのも効果的です	□

四谷大塚	4年							
	理科							
学習内容	9回　ばね 10回　総合（予習シリーズ４年㊦　第６回～第９回） 11回　月 12回　いろいろな気体							
家庭学習ポイント	11月は第9回「ばね」、第10回「総合」、第11「月」12回「いろいろな気体」について学習します。ばね」ではばねの自然長とのびを別に考えるため、しっかりと書き出して比例計算を行う習慣をつけることが大切です。基本問題では「書かなくても正解できる」と感じるかもれませんが、自然長とのびの長さを書き出さない習慣がついてしまうと、条件が複雑な応用問題に対応できなくなってしまいます。総合回では「もののとけ方（1）（2）」「流水と地形」「ばね」を振り返ります。カリキュラムの進行が早いため、総合回でしっかり思い出し、復習しておくことが成績アップには必須となります。「月」については、月の満ち欠けのメカニズムにかんして全般的に学習します。「暗記分野」と考えられがちですが、地球の周りを公転する月の様子と太陽との位置関係から、どの位置に月があるとどのような形に見えるかを、自分で図を書いて説明できるようにしておくことが大切です。「いろいろな気体」では、酸素や二酸化炭素などおもな気体の性質について学習します。気体の発生方法についても、押さえておくべきポイントは多岐にわたります。実験器具など「なぜそのように使用するのか」には必ず理由があります（多くは安全上の理由）。「～だから◯◯のように使う」といった文脈で理解しておくことが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	ばねの問題では、必ず「自然長」「のび」を書き出して計算していますか？	チェック					
	解決策	基本問題で「書かなくてもできる」と端折ると、応用問題でつまずきます	□					
	チェック2	月の公転周期（27.3日）と満ち欠けの周期（29.5日）がずれる理由が説明できますか？	チェック					
	解決策	文章を覚えるのではなく、自分で模式図を書いて説明できるようにしておくことが大切です	□					
	チェック3	酸素、二酸化炭素、水素を発生させるときに使う固体と液体を答えられますか？	チェック					
	解決策	特に酸素発生時に使用する二酸化マンガンが「しょくばい」であることに注意です	□					
	チェック4	気体発生の実験で使用する実験器具などを正しく答えられますか？	チェック					
	解決策	特に三角フラスコの中の管の長さ、気体の収集（置換）法などは重要で頻出です	□					
	チェック5	過去の学習内容の復習ができていますか？	チェック					
	解決策	2ヶ月、3ヶ月前に習った内容の復習を、少しずつでも家庭学習に入れられるのが理想です	□					

四谷大塚	4年							
	社会							
学習内容	9回　山と川がうみだす地形 10回　総合（予習シリーズ４年㊦　第６回～第９回） 11回　米づくり　～日本の農業(1) 12回　畑でつくられるもの　～日本の農業(2)							
家庭学習ポイント	11月から産業別地理が始まります。9回「山と川がうみだす地形」10回「総合」を経て、まずは日本の農業からです。第11回「米づくり」、第12回「畑でつくられるもの」と題して、産業別に日本の農業を学んでいきます。今後注意しなければならないのは、単純に「作物名」と「生産地」をひたすら暗記するスタイルの学習に陥ってしまわないことです。このような学習だと、勉強自体も面白くないですし、どんなに勉強してもすぐに忘れてしまいます。なぜ十勝平野ではじゃがいもや小麦の生産が盛んなのか、なぜ鹿児島県では畜産がさかんなのか、なぜ山梨県や山形県では果物の生産がさかんなのか、なぜ根釧台地では酪農がさかんなのか。「何が、どこでつくられているのか」を覚える際には、必ずそれぞれの作物の特性と、各地の気候、地形の関係を理解しておく必要があります。土地の成り立ちあ性質と生産物を関連させながら理解していくようにしましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	十勝平野でじゃがいもやてんさいの栽培が盛んな理由を説明できますか？	チェック					
	解決策	「水はけがよいから」と丸覚えせず「火山灰によってできた台地」から説明できるといいですね	□					
	チェック2	扇状地で果物の栽培がさかんな理由を説明できますか？	チェック					
	解決策	「水はけがよい」「根腐れ」といったキーワードから説明してみましょう	□					
	チェック3	米の生産量ベスト3の都道府県を答えられますか？	チェック					
	解決策	新潟県・北海道・秋田県ですね	□					
	チェック4	上記北海道の石狩平野はもともと稲作に適していない土地でしたが、盛んになった理由は？	チェック					
	解決策	「客土」と呼ばれる稲作に適した土を他の土地から持ってきたんですね	□					
	チェック5	社会の学習に地図帳、白地図を活用していますか？	チェック					
	解決策	特に白地図は自分で作ると繰り返し入試まで活用でき、おすすめです	□					